

機械器具 1 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ JMDNコード: 70469000

胸受けM

【警告】

胸受支柱の脱着及び移動の際は、胸受支柱を持って行うこと。胸受クッションは胸受支柱への差し込み式となっていますので、胸受クッションを持って脱着及び移動しますと、胸受支柱が落下し、思わぬ事故の原因となります。

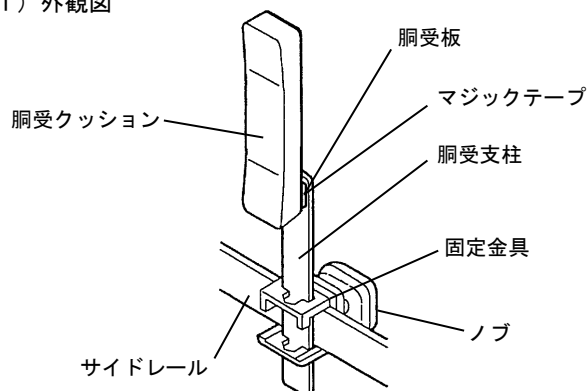
【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社及びタカラ Belmont 製の高さ 32mm×板厚 9mm のサイドレールを使用する手術台以外には、取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

【形状・構造及び原理等】

1) 外観図



2) 機器の仕様

- ①固定金具のノブ操作により、胸受支柱を 110mm の範囲で昇降させることができます。
- ②許容負荷荷重: 取付高さ 200mm の位置で胸受クッション中央部に 200N (20kgf)

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(ただし、結露しないこと)
周囲温度 10～40℃ 相対湿度 30～75% 気圧 700～1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は、手術台に取り付け、患者の胸を支える為に使用する。

【使用方法等】

1) 取付・設置 (組立・据付)

- ①固定金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から胸受支柱を差し込み、固定金具のノブを時計回りに廻して固定します。
- ②ノブ操作で固定と解除が正常に作動することを確認します。
- ③胸受クッションのマジックテープが胸受板の裏側で固定されていることを確認します。

2) 操作方法又は使用方法

固定金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から胸受支柱を差し込み、胸受クッションを任意の高さ及び位置で合わせ、固定金具のノブを時計回りに廻して固定します。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①ノブが確実に固定されているか確認すること。確実に固定されていないまま使用しますと、機器が動いたり落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ②患者を支えたままでノブを操作するときは必ず手術台のテーブルトップを水平にして操作すること。テーブルトップが傾斜した状態でノブを操作しますと、患者が落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ③胸受クッション中央部に許容負荷荷重 (20kgf) 以上の負荷を加えないこと。機器の破損の原因になります。
- ④使用後は清拭作業を行い、機器を清潔に保ち使用すること。[清拭作業が不十分な場合は、菌の発生により人体に影響を及ぼす場合があります。機器を清潔に保ちご使用ください。]
・使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール (70%) 4 級アンモニウム系・塩化ベンザルコニウム (0.1～0.2%) をご使用ください。
- ⑤金属腐食性の強い消毒液 (ポピドンヨード、次亜塩素酸ナトリウムなど) は使用しないこと。[本体の腐食の防止]

【保管方法及び使用期間等】

〈保管方法〉

・保管環境

周囲温度 -20～60℃ 相対湿度 10～90% 気圧 500～1060hPa

〈耐用期間〉

- ・本機の耐用期間は 10 年です。[自己認証 (当社データ) による]

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

- ・クッション部品は使用環境によって異なります。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検 (日常点検)〉

- ・サイドレールへの接続状態の確認。
- ・外観の破損状態の確認。
- ・取付状態の確認。
- ・各部が正確かつ安全に作動することの確認。
- ・ゆるみ、ガタ、傾き、臭気などの確認。

以上について点検を行い、少しでも「おかしいな？」と感じたらすぐに使用を中止すること。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に清掃を行なった後、必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

〈業者による保守点検〉

業者による保守点検を実施する場合は、弊社または医療機器修理業者などの有資格者へ依頼してください。

〈消耗品〉

ご使用によって磨耗や劣化、外観の変化、破損が予測される部品です。修理や交換の場合は保証の対象外となります。

- ・胴受クッション

●機器を廃棄するとき

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行ない、その時点での法規制に従い、適切な処理をしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

タカラメディカル株式会社

TEL：06-6499-3461

販売業者